

2019 年度 日本建築学会近畿支部 親と子の都市と建築教室 「京町家の伝統技術を学ぼう 親子で土壁塗りに挑戦！」報告書

日時：2019 年 8 月 17 日（土）10:00～17:00

場所：学校法人京都建築学園京都建築専門学校

今回で 17 回目を迎えた本教室は、学校法人京都建築学園京都建築専門学校（以下、京都建築専門学校）と本会当支部との共催事業であり、参加者は、京都の町家を支える重要な伝統的要素である「土壁」に触れながら、土壁自体と土壁が使われている町家の歴史について学ぶことができる。これまで同様、京都建築専門学校の佐野春仁校長と京都府左官技能専修学院の佐伯護学院長に講師をご担当いただきながら、子供たちが自らの手で実際に土壁の下地となる竹小舞を編み、その上に荒土壁を塗る経験ができることはもちろん、一流の左官職人でもある佐伯学院長の中塗りの実演を目の当たりしたり、京都建築専門学校の「よしやまち校舎」において京都の町家を実際に見学したりしながら多くの学びが得られる機会となった。

参加者募集は今年も「みやこ子供土曜塾」の情報誌「GoGo 土曜塾」で行い、7 月 8 日時点で 15 組の定員を超え 16 組の申し込みがあった。最終的に欠席者を見込んだ上で 18 組まで受けることにしたが、当日の欠席は 1 組のみで、17 組 21 名の子供、20 名の保護者が参加という例年と比較しても大人数の参加者となった。

当日は 9 時 45 分に「よしやまち校舎」の広間に集合して 10 時から開始、参加者で広間がぎっしり埋まる中、まずは金尾常議員から子供たちに向けて、土壁のいいところ、特に土壁が地震に強いことについて模型を使いながらわかりやすく説明していただいた。その後、参加者の自己紹介、1 日の行事説明を経て、近隣にある京都建築専門学校本校の一階ピロティにしつらえた作業場に移動した。竹小舞編み、土壁塗り体験の教材は、壁面を模した木枠群が一行に据え付けられたもので、佐野校長の指導のもと京都建築専門学校の学生スタッフらにより準備していただいた本格的なものである。午前中は、佐野校長より竹小舞の編み方の説明を受けた後、子供達の背丈を超える畳 1 畳大の木枠の中に、下地となる竹小舞を親子が助け合いながら縄で編み上げていった。

昼食は「よしやまち校舎」に戻って佐野校長の奥様にご準備して頂いた美味しいカレーを頂き、その後、京都の町家やその保存活動について佐野校長から解説をいただいた。子どもたちは普段見慣れない急な階段を登って 1 階から 2 階を縦横無尽に走り回りながら、全身で町家を体験できる貴重な機会となった。

午後は再び作業場に戻り、土を竹小舞に塗る荒壁塗りを行った。佐野校長、佐伯学院長から、鏝板や鏝の扱い方、小舞への土の塗り付け方などを教わった後、子供も親も熱心に土壁塗りに取り組んだ。最初は思い通りに塗れなくて土が下に落ちる場面も見られたが、京都建築専門学校の学生の熱心なサポートを受けながら、親子でだんだんコツをつかんでいく様子が見て取れた。荒壁塗りが一段落した後は、佐伯学院長による中塗りの実演が披露された。一流職人の早く美しい

仕事ぶりを目の当たりにした子供達の驚きが、その顔からありありと窺えた。佐伯学院長には子供達が塗り上げた荒壁について講評も頂き、作業所での体験は終了して「よしやまち校舎」に移動した。子供達が各自の感想を述べた後、一人一人に「ちびっこ親方」修了書の授与式が行われた。例年、この修了書には親子の写真付きでシリアルナンバーも付与されているため、当日支部常議員がPCでの編集と印刷を行う必要があり、ぎりぎりの時間まで作業に追われることになる。今回は西嶋常議員、神澤常議員を中心に写真撮影、修了書の編集作業が行われ、途中いくつかトラブルに見舞われたが、コンビニエンスストア（ファミリーマート）にPDFデータを持ち込みA4光沢紙で印刷できるサービスがあることを知り、それを利用することで例年より修了書の印刷時間を大幅に短縮することができた。来年以降もこの印刷サービスを利用することをお勧めしたい。続いて京都大学の学生ボランティアからはスケッチをもとにした本教室で体験したことの振り返り、親と子の都市と建築教室拡大実行委員長の安福常議員の全体講評を経て、最後に佐野校長による閉会挨拶を迎えた。

今回も講師の方々に加え、京都建築専門学校、京都大学の学生、過去に9回もの参加経験を持つ近畿大学の学生らボランティアの献身的な支えもあり、参加してくれた子供達や保護者の方々には貴重な伝統建築やその技術に直に触れ学ぶことができ、夏休みの特別な1日となった。



写真1 佐野校長から竹小舞の編み方の説明を受ける子供達と保護者の方々



写真2 佐伯学院長から土壁塗りのコツを教える子供達と保護者の方々

日本建築学会近畿支部常議員
安福健祐(親と子の都市と建築教室拡大実行委員長)
西嶋一欽、神澤宏明、金尾伊織